

患者ケアと心理的援助

国立療養所犀潟病院（心理療法士） 後藤清恵

在宅ケアは、援助を受ける側と援助を提供する側の両者によって成り立っていることは言うまでもない。本稿では、その両者への援助について検討し、提示してみたい。

1. 難病患者・家族に対する援助

難病の心理的援助において前提となる考えは、「心理的ないし社会的要因はしばしば、その症状を憎悪させる決定因子となる。」というものである。心理的要因としては不安やあきらめによって能力低下することがあるだろうし、社会的要因としては抑圧的人間関係によって社会的援助の減少や心身の平衡を崩しかねないことが考えられる。

ここに基本を置いて援助の目標は

- (1) (自尊感情に通じる) 自己肯定感の増強：他人との比較でなく、私が「私」であることを認める感覚
- (2) 抑圧的人間関係の改善：思いや考えに触れること（言葉にすること）が禁止されているような人間関係
- (3) 社会的援助の増強

とする。(3)は、ネットワークと適切な社会的援助の情報の提供などではあるが、本書の他稿で十分に語られているので、ここでは(1)と(2)について述べることにする。

まず、援助の形態である。それは、

患者・家族の個人的援助

環境調整（関係性の改善）

- 患者と家族
- 患者と治療者
- 治療機関と地域

サポートグループによる援助

セルフヘルプグループによる援助

の4つである。著者の体験では、自己肯定感の増強には と が役立ち、抑圧的人間関係の改善には と が役立つと考えている。そして、その両者に共通に役立つ のサポートグループによる援助は、人が社会的存在であり、他者の承認こそ人を力づけるものであることを実証する。これと並んで、患者・家族がより自立的になる際、 のセルフヘルプグループが成立する。

では、心理的援助の際の留意点に触れたい。

難病で苦しむ患者・家族に典型的に見られる反応は、「何故、私（の家族）に起こったか」とい

う思いである。

その内容は

- 他の誰もこの問題を持っていない。
- 誰も、私の苦しみを理解してくれない。
- 誰も、私がこの問題を克服するのに、本当の助けにはならない。

というもので、社会（人々）からの孤立感を味わい、受け入れ難い事実の前で当惑している。それ故、念頭に置くことは二つある。一つは「対象喪失の予期による悲哀の心理」である。対象喪失とは、自分自身や家族、社会的地位、人とのつながりを失うということで、それにより“不治”と“死”の恐怖が増々つのらされていくということを理解しておく必要がある。さらに、難病に付随する社会的スティグマ（烙印）による偏見にさらされている点も難病の人々の置かれている特殊な状況として心にとめておく必要がある。家族も患者の出現によって危機に直面し同様の心理状況に立つ。キューブラ・ロスの示した、いわゆる「悲嘆の作業」を通じて

- 以前の情動の状態から、ある程度の距離を持つこと。
- 自分の病（患者の出現）と新しい関係を作り出すこと。

が重要である。家族においては更に、

- 家族内コミュニケーションの増強
- 家族内役割の変更
- 家族の価値観の変更

等が求められる。

次に頭に置くことは、「慢性の経過の中で、問題の解決より、問題を持続させている考えや行動や相互関係のパターンに注目すること」である。例えば、身体が不自由なことではなく、むしろ不自由な身体で肩身の狭い思いをしている点の解決を目指すことになる。

2. 支援スタッフに対する援助

(1) 在宅ケア支援チームのカンファレンスの設置

援助者が、自分の立つ地平を確認し、起きていることを理解するためには、チーム間でフェアに、事実や状況を眺め、コメントしあうことが助けとなる。その上で患者・家族支援のために、誰に、そして何に働きかけることが最も必要かつ有効かを検討することになる。

患者、家族理解の情報交換

患者、家族のニーズの共有、アセスメント

患者、家族の特質の共有、アセスメント

患者と家族の間の問題と問題を持続させている相互関係パターンの共有、アセスメント

支援チームと患者、家族の間の問題と問題を持続させている相互関係のパターンの共有、

アセスメント

などがその内容となる。

(2) 支援チームのメンタルヘルスのための相互支援のシステム作り

スタッフが一人で困窮することを避け、チームで支えるという意識と実践が大切である。そのためには

チームスタッフ各々の所属する組織の理解と、その組織のパワーダイナミックスの理解

チームスタッフの抱える問題のアセスメント

チームスタッフの不安と負担の軽減などが必要となる。

援助を提供する側が支えられることにより、余裕と元気を取り戻す。その結果、患者・家族への援助が適切でより柔軟性のあるものになると考える。

